

平成 27 年度 事務事業評価シート

新規 継続 変更

一般ソフト事業 施設等維持管理 行政事務

事務事業名	観光推進事業	予算事業名	観光推進事業	担当課	魅力づくり推進課						
会計名称	一般会計	予算科目	7款1項2目	所属長名	矢山 良寛						
総合計画での位置づけ	地域資源を活かし、新たな発展を生む産業をつくる 観光振興による交流拡大			担当責任者名(記入者)	安部 憲一郎						
電話番号(内線)											
事業の性格	<input checked="" type="checkbox"/> 内部管理事務 <input type="checkbox"/> 法定事務	法令根拠等									
事業の対象	町内主に猪野地区	実施期間	【開始年度】	平成 24 年度							
			【終了年度】	平成 年度(予定) ■ 設定なし							
事業の目的	久山町の魅力を町内外に発信し、訪れる人達に元気を感じてもらえる機会を提供するとともに、町民も地域の魅力を再認識する機会につなげる。	事業の内容	5月と8月にトリアスにおいて町の食べ物や産品販売をテーマとした、いやさか市を開催。11月に町の食と食文化をテーマにした「久山の秋の食フェスタ2015」を開催。(いやさか市、食フェスタの開催については商工会と連携しながら行っている)3月に猪野区において地元住民と協働しながら「第4回ひさやま猪野さくら祭り」を開催。前年度より1年間通じて募集してきた「第2回久山町フォトコンテスト」の審査及び表彰を実施。								
改善策の具体的取り組み(当初)	行政主導ではなく、地域や関係団体と協働で事業を企画運営し、まちの活性化につなげる。	改善策の具体的取り組み(二次評価後)	関係地区及び関係機関と協働で事業の企画・運営を行った。								
事業費及び財源内訳(千円)				事業活動の実績(活動指標)							
項目	26年度決算	27年度予算	9月末の執行状況	27年度決算	項目	単位	26年度実績	27年度予定	9月末の実績	27年度実績	
事業費	直接事業費	6,484	8,445		7,897	イベント参加者・来場者数	人	11274	16000		23065
	人件費	1,376	1,340		1,340						
	合計	7,860	9,785		9,237						
財源内訳	国庫支出金				7,328	町内出店数(さくら祭り)	団体	24	35		31
	県支出金					"フェスタ"(食)	団体	31	30		30
	地方債										
	その他の一般財源	7,860	9,785		1,909						
事務量	①人人工数	0.20	0.20		0.20						
	②人件費単価	6,883	6,701		6,701						
	③補助事業人件費										
	人件費(①×②-③)	1,376.60	1,340.20		1,340.20						
向こう5年間の直接事業費の推移(千円)				28年度	29年度	30年度	31年度	32年度	5年間の合計		
		8,648	8,500	8,500	8,500	8,500	8,500	8,500	42,648		
成果指標		イベント参加者・来場者数		区分年度	26年度	27年度	28年度	目標年度			
				実績	11274人	23065人					
指標設定の考え方		観光事業で計画した事業への参加者及び来場者の人数が、税収や地域の活性化及び将来的な定住に繋がる		目標	16000人	16000人	24000人	25000			
今年度の課題への対応状況(途中経過)		さくら祭りにおいて、実行委員会のメンバーの固定化が課題となっていたため、構成・メンバーについて大きく見直し、実行委員長に地域の方になっていただき、委員についても新しい方に入っていただき刷新した。									
事務責任者)	自己評価(担当責任者)	目的の妥当性	5 施策の目的そのものである。 4 施策の目的に沿ったものである。 3 施策の目的全くそぐわない。	5	合計点が 14~15 : A 10~13 : B 8~9 : C 5~7 : D 3~4 : E	B	自己の課題認識	食フェスタについては町の食や食文化をテーマにしたイベントとなっており、開催趣旨が明確になっているが、いやさか市については開催趣旨や目的が薄れてきており、再度検討する必要がある。			
		町民ニーズへの対応	5 町民ニーズに直結する。 4 受益者のニーズは捉えている。 3 町民ニーズを捉えたものと言えない。	4	合計点が 14~15 : A 10~13 : B 8~9 : C 5~7 : D 3~4 : E						
		町の関与の妥当性	5 町が積極的に関与すべきものである。 4 今のところ関与は妥当と判断できる。 3 町が関与すべきでない。	4	合計点が 14~15 : A 10~13 : B 8~9 : C 5~7 : D 3~4 : E						
	有効性	事業の効果	5 町民がおおいに満足している。 4 町民がほぼ満足している。 3 町民が満足していない。	4	合計点が 14~15 : A 10~13 : B 8~9 : C 5~7 : D 3~4 : E						
		成果向上の可能性	5 具体策が明確で、成果実績が向上している。 4 具体策が明確で、成果の向上が期待できる。 2 問題を解決できる目処が全く無い。	4	合計点が 14~15 : A 10~13 : B 8~9 : C 5~7 : D 3~4 : E						
		施策への貢献度	5 施策推進への貢献は多大である。 4 施策推進に必要である。 2 施策推進につながらない。	4	合計点が 14~15 : A 10~13 : B 8~9 : C 5~7 : D 3~4 : E						
	効率性	手段の最適性	5 活動指標が向上し、新しい活動指標を設定できる。 4 計画・手段が効率的である。 2 活動指標の実績が上がらず、効率的な手段でない。	5	合計点が 14~15 : A 10~13 : B 8~9 : C 5~7 : D 3~4 : E						
		コスト効率	5 予算額内で目標以上の成果実績の向上が見られた。 4 予算額内で目標の80%以上の実績をあげた。 1 成果実績に対して、予算額が過大である。	4	合計点が 14~15 : A 10~13 : B 8~9 : C 5~7 : D 3~4 : E						
		受益者負担の適正	5 コスト効率が良く、サービスとのバランスが良い。 4 適当な受益者負担と判断できる。 1 コスト効率が悪く、受益者以外の負担が大きい。	4	合計点が 14~15 : A 10~13 : B 8~9 : C 5~7 : D 3~4 : E						
	評価所長)	一次評価(所長)	目的の妥当性	5 施策の目的そのものである。 3 施策の目的に沿ったものである。 1 施策の目的全くそぐわない。	4	合計点が 14~15 : A 10~13 : B 8~9 : C 5~7 : D 3~4 : E		所長の課題認識	イベントを通して久山町の一定のPRの効果は得ていると考える。今後は、更なる地域資源を発掘し、イベント時だけではなく、継続的にまちを訪れる人が増えるような、着地型の観光について力を入れていく事が必要である。		
町民ニーズへの対応			5 町民ニーズに直結する。 4 受益者のニーズは捉えている。 1 町民ニーズを捉えたものと言えない。	4	合計点が 14~15 : A 10~13 : B 8~9 : C 5~7 : D 3~4 : E						
町の関与の妥当性			5 町が積極的に関与すべきものである。 4 今のところ関与は妥当と判断できる。 1 町が関与すべきでない。	3	合計点が 14~15 : A 10~13 : B 8~9 : C 5~7 : D 3~4 : E						
有効性		事業の効果	5 町民がおおいに満足している。 4 町民がほぼ満足している。 2 町民が満足していない。	4	合計点が 14~15 : A 10~13 : B 8~9 : C 5~7 : D 3~4 : E						
		成果向上の可能性	5 具体策が明確で、成果実績が向上している。 4 具体策が明確で、成果の向上が期待できる。 1 問題を解決できる目処が全く無い。	3	合計点が 14~15 : A 10~13 : B 8~9 : C 5~7 : D 3~4 : E						
		施策への貢献度	5 施策推進への貢献は多大である。 4 施策推進に必要である。 1 施策推進につながらない。	4	合計点が 14~15 : A 10~13 : B 8~9 : C 5~7 : D 3~4 : E						
効率性		手段の最適性	5 活動指標が向上し、新しい活動指標を設定できる。 4 計画・手段が効率的である。 2 活動指標の実績が上がらず、効率的な手段でない。	3	合計点が 14~15 : A 10~13 : B 8~9 : C 5~7 : D 3~4 : E						
		コスト効率	5 予算額内で目標以上の成果実績の向上が見られた。 4 予算額内で目標の80%以上の実績をあげた。 1 成果実績に対して、予算額が過大である。	3	合計点が 14~15 : A 10~13 : B 8~9 : C 5~7 : D 3~4 : E						
		受益者負担の適正	5 コスト効率が良く、サービスとのバランスが良い。 4 適当な受益者負担と判断できる。 1 コスト効率が悪く、受益者以外の負担が大きい。	3	合計点が 14~15 : A 10~13 : B 8~9 : C 5~7 : D 3~4 : E						

平成 27 年度 事務事業評価シート（裏面）新規 継続 変更

一般ソフト事業 施設等維持管理 行政事務

事務事業名	観光推進事業	予算事業名	観光推進事業	担当課	魅力づくり推進課
会計名称	一般会計	予算科目	7款1項2目	所属長名	矢山 良寛
総合計画での位置づけ	地域資源を活かし、新たな発展を生む産業をつくる 観光振興による交流拡大			担当責任者名（記入者）	安部 憲一郎
事業の性格	■ 内部管理事務 □ 法定事務	法令根拠等			
事業の対象	町内主に猪野地区	実施期間	【開始年度】 平成 24 年度	【終了年度】 平成 年度(予定)	■ 設定なし
事業の目的	久山町の魅力を町内外に発信し、訪れる人達に元気を感じてもらえる機会を提供するとともに、町民も地域の魅力を再認識する機会につなげる。	事業の内容	5月と8月にトリアスにおいて町の食べ物や产品販売をテーマとした、いやさか市を開催。11月に町の食と食文化をテーマにした「久山の秋の食フェスタ2015」を開催。（いやさか市、食フェスタの開催については商工会と連携しながら行っている）3月に猪野区において地元住民と協働しながら「第4回ひさやま猪野さくら祭り」を開催。前年度より1年間通じて募集してきた「第2回久山町フォトコンテスト」の審査及び表彰を実施。		
改善策の具体的取り組み（当初）	行政主導ではなく、地域や関係団体と協働で事業を企画運営し、まちの活性化につなげる。	改善策の具体的取り組み（二次評価後）	関係地区及び関係機関と協働で事業の企画・運営を行った。		

自己担当責任者評価	妥当性	目的の妥当性	5	B	自己評価は、担当者が主に事業推進を効率的効果的に進めたかどうかを評価したもの。 一次評価は、担当者の自己評価を踏まえて施策の推進を念頭に置き、所属長が評価したもの。	B	4	目的の妥当性	妥当性	所長評価			
		町民ニーズへの対応	4				4	町民ニーズへの対応					
		町の関与の妥当性	4				3	町の関与の妥当性					
		事業の効果	4				4	事業の効果	有効性				
		成果向上の可能性	4				3	成果向上の可能性					
	有効性	施策への貢献度	4	B			4	施策への貢献度					
		手段の最適性	5				3	手段の最適性	効率性				
		コスト効率	4				3	コスト効率					
		受益者負担の適正	4				3	受益者負担の適正					
課題認識	食フェスタについては町の食や食文化をテーマにしたイベントとなつており、開催趣旨が明確になっているが、いやさか市については開催趣旨や目的が薄れてきており、再度検討する必要がある。									課題認識			

施策を踏まえた判断評価	二 次 評 価	<input type="checkbox"/>	一次評価結果より以下の点について良好と評価し、更なる事業推進を求める。	指摘事項を踏まえ、事務改善、事業推進に努め、今年度の事務事業評価シートに反映させること。
		<input checked="" type="checkbox"/>	一次評価結果のとおり事業継続と判断する。	
		<input type="checkbox"/>	一次評価結果のとおり事業継続と判断するが、以下の課題を新たに追加する。	
		<input type="checkbox"/>	一次評価は以下の点で問題がある又は判断されるため、一次評価の見直しを求める。	
		<input type="checkbox"/>	市民サービスに直結する主要事業のため、評価そのものを行政評価委員会に諮ることとする。	
		<input type="checkbox"/>	一次評価結果のとおり事業縮小と判断し、行政評価委員会に諮ることとする。	
		<input type="checkbox"/>	一次評価結果のとおり事業廃止と判断し、行政評価委員会に諮ることとする。	

行政評価委員会の答申	外部評価	答申の内容
		町外の方々に来ていただくことで久山のPRはできていると思うが、久山への定住を考えるのであればもっと広く考え、観光のみでなく衣食住等町の特色や住みたくなる情報の提供等を行ってはどうか。また、イベント時の来場者アンケートをもう少し具体化し経済効果を測ることによって、今後どこにどのようなPRをしていくべきか明確になると考える。指標としては、新入居者（世帯）、新事業者（起業者）の増加度を測定されることを提案したい。

経営者会議の最終判断	事業の方向性	コメント欄	
		<input type="checkbox"/> さらに重点化する。	
		<input type="checkbox"/> 現状のまま継続する。	
		<input checked="" type="checkbox"/> 右記の点を見直しの上、継続する。	○いやさか市については商工会と協議をし、テーマをはっきりさせ、内容、時期をよく検討すること。 ○観光事業はよく出来ていると感じるが、観光のみでなく住みたくなる情報の提供を行うこと。
		<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する。	
		<input type="checkbox"/> 事業の休止、廃止を検討する。	